

平成27年度第1回小牧市こども自然体験活動事業委員会 議事要旨

| | |
|--------|---|
| 《日 時》 | 平成27年4月24日(金) 午後3時～4時45分 |
| 《場 所》 | 小牧市役所 601会議室 |
| 《議 題》 | (1)平成26年度小牧市こども自然体験活動事業報告及び決算報告について (2)平成27年度小牧市こども自然体験活動事業計画案及び予算案について |
| 《出席者》 | 委 員：増田委員 波多野委員 小島委員 伊藤委員 橋本委員 鈴木委員 清水委員 倉知委員 事務局：小塚こども未来部長 鍛冶屋次長 須崎こども政策課長 平岡課長補佐 河畑指導員 永井係長 若林 |
| 《傍聴者》 | なし |
| 《会議経過》 | 以下のとおり |

1 あいさつ

[こども未来部長]

この委員会の活動は、体を使って作業をしたり、また委員の皆様方を始めとする地域の大人と触れ合うという、子ども達にとっては、日常とは違った体験ができる、大変意義のあるものであり、自然に触れる機会の少なくなった子どもたちにとって、貴重な経験の場となるこの活動は「こども夢・チャレンジ」にふさわしいものであると思っております。忌憚のない意見をいただき、これからの事業の推進に格別のご理解とご協力をよろしく申し上げます。

2 役員の選出

委員長：増田敏一 委員（再任） 副委員長：田野正子 委員（再任）
監事：小島正明 委員（再任） 会計：清水 豊 委員（再任）

[委員長] 子ども達にいろいろな体験をさせてあげられているのは大山区の方々の協力のおかげです。本当にありがとうございます。充実した自然体験ができるよう、みなさんと協力してやっていきたいと思っていますので、よろしく申し上げます。

3 議 題

- (1) 平成26年度小牧市こども自然体験活動事業報告及び決算報告
・別紙3、4に基づき事務局より説明

*委員から次のような意見があった。

●親子でじゃがいもづくりについて

〔委員〕できるだけおいしいもを作ってあげたい。取れる量とおいしさの質を考え、いい品種があれば教えて欲しい。

〔委員〕4月19日に実施した第2回目で肥料をあげる体験のように、草取りだけではなく、いろいろなことを子どもに体験させていきたい。

〔委員〕第2回目で芽欠きの説明をしたが、芽欠きはハサミではなく、手で根元からちぎったほうがいい。もっと大きくなってからだと抜きやすい。

●わくわく魚とりについて

〔委員〕魚の手配について、小牧市付近ではあまりないが、蟹江町のほうでは魚の池をよく見かける。

〔委員〕以前、魚とりは命を粗末にしているのではないか、という論議がなされたことがある。結論としては、魚をつかまえ育て、死んでしまうという自然の体験を通して、命の大切さを学んでほしいということになった。つかまえたら、できるだけ早く綺麗な水に放すように指導が必要。

〔委員〕殺すことが目的ではなく、生かすことを考えながら体験して欲しい。

●もち米づくりにチャレンジについて

〔委員〕昨年度は水を少なくして植えてみたところ、植えやすいと好評であった。

〔委員〕田植えのとき、苗を子どもがとると根を千切ってしまうため、大人が取って子どもに渡すようにするほうがいい。

〔委員〕親も一緒に泥だらけになって草取りをするべき。

〔委員〕昨年度のもちつきの際に行った縄ない体験は非常によかったと思う。

●さつまいもほりについて

〔委員〕掘るだけで自然体験と言っていいのか。芽ざし、草取り、収穫するという一連の作業を行ったらどうか。

●その他

〔委員〕体験活動に来る際にプラスチックのスコップ等をもってくる子どもがいるが、すぐに壊れてしまうため、金属製のものをもって来るよう周知して欲しい。

〔事務局〕案内ハガキ等には記載してあるが、更なる周知を行います。

● 兒の森での事業について

《ジュニアセミナー「里山体験」》

〔委員〕子どもだけではなく、大人も別グループで参加出来るようにしたことは非常に好評である。毎年6回実施しているが、目新しいものがあったら教えて欲しい。原則として、兒の森にあるもので体験を行いたい。

● 自然観察事業の実施

《身近な自然観察》

〔委員〕『親子参加』で行っているが、関心の高い親が非常に多い。

● 小牧山及び青年の家における事業について

《次世代育成事業》

〔委員〕ほぼ固定したメンバーで活動をしており、高校生たちが中学生を引っ張って活動をイベントを行っている。

● 兒の森の整備の実施

〔委員〕環境対策課が実施したリーダー養成講座で大山川の源流を見にいった。定期的に草刈を実施している。

● 決算報告について

⇒事業報告及び決算報告について報告どおりで承認を得られた。

(2) 平成27年度小牧市こども自然体験活動事業計画案及び予算案

- ・ 別紙5、6に基づき事務局より説明

〔委員〕さつまいもほりについて、掘るだけでなく、芽ざし⇒草取りを子ども達に体験してもらうのはどうか。

〔委員〕土の状態により芽ざしを行う時期を決めるのは非常に難しい。イベントは土日しか行うことができない。

〔委員〕芽ざしは子どもには少し難しく、つるがはってくるので草取りも難しい。いろいろな体験をさせてあげたいが、掘るだけでもいいのではないか。

⇒事業計画案及び予算案について、報告どおりで承認を得られた。

(3) その他

委員より、兒の森活動グループの代表が清水氏から柴田氏へ変更があった旨の説明があり、事務局より、5月5日「わくわく魚とり」の説明を行い、協力を依頼した。